様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 531201	準用河川維持事業	主管課名	土木管理課
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境	課長名	竹谷　好裕
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち		
	基本事業	準用河川の整備		

(1)事業の概要

河川堤防における草刈や川底の浚渫を定期的に行い適正な河川管理を行う。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	草刈面積	㎡
②	草刈延長	m
③	浚渫量	m3

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	①草刈委託設計書作成　②委託業務発注　③打合せ　④業務内容確認及び検査　⑤支払い事務　⑥浚渫土量算出　⑦設計書作成　⑧工事発注　⑨業務内容確認及び検査　⑩支払い事務
26年度計画	■前年と同様　□変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

準用河川の本数

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	管理する河川の本数	河川
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①除草により生活環境を向上させる
②犯罪予防をする
③景観を向上させる

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	草刈面積	㎡
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

多自然型により河川整備を行なう

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	準用河川の整備延長	m
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	㎡	155,788	155,788	155,800	155,800	155,800	155,800
	②	m	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900
	③	m3	30	30	30	30	30	30
(6)の対象指標	①	河川	8	8	8	8	8	8
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	㎡	155,788	155,788	155,800	155,800	155,800	155,800
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	m	4,593	4,723	4,773	4,943	5,103	5,363
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	08	項	03	目	01

(11)コスト

		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	13,766	45,813	16,620	16,953	16,953	16,953
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	13,766	45,813	16,620	16,953	16,953	16,953
人件費B		千円	5,086	5,005	5,005	5,005	5,005	5,005
	正職員従事時間×人数	時間×人	225 × 6	225 × 6	225 × 6	225 × 6	225 × 6	225 × 6
	正職員以外の人件費	千円						
その他費用C		千円	233	233	233	233	233	233
トータルコストA+B+C		千円	19,085	51,051	21,858	22,191	22,191	22,191
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ 河川	2,386	6,381	2,732	2,774	2,774	2,774
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	531201	準用河川維持事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
準用河川の認定されて　から	施設の老朽化等による修繕工事が増加傾向にある。
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
河川維持を行うため	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
■変化していない □変化している → 変化した内容	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	河川法	
			この事務を行う根拠又は理由	河川管理者としての責務である	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	河川管理区域の減少はなく、今後は草刈面積及び浚渫面積の増加が予想される。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → ■庁内事業 / □庁外事業 □ない	類似事業名	道路草刈管理業務	
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 ■ない	
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）							
	(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
		コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
	(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						